

一般社団法人国際再生医療普及協会  
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2022年11月25日（金）15：15～15：25

開催場所：千葉大亥鼻イノベーションプラザ 1階/web

|   | 摘要                                  | 氏名             | 出欠 | 利益相反 |            |
|---|-------------------------------------|----------------|----|------|------------|
|   |                                     |                |    | 医療機関 | 委員会<br>設置者 |
| 1 | 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家      | 石井 伊都子         | ×  |      |            |
|   |                                     | 鈴木 邦子          | ○  | 無    | 無          |
| 2 | 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者      | 齋藤 康<br>※委員長   | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 落谷 孝広          | ×  |      |            |
|   |                                     | 寺井 崇二          | ×  |      |            |
| 3 | 臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）            | 中林 正雄          | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 竹本 稔<br>※技術専門員 | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 佐野 明彦          | ×  |      |            |
| 4 | 細胞培養加工に関する識見を有する者                   | 木田 泰之          | ○  | 無    | 無          |
| 5 | 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家 | 中村 智広          | ○  |      |            |
| 6 | 生命倫理に関する識見を有する者                     | 川上 祐美          | ×  |      |            |
| 7 | 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者             | 林 邦彦           | ×  |      |            |
| 8 | 前7号に掲げる者以外の一般の立場の者                  | 宮内 明子          | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 中山 ちはる         | ×  |      |            |

※中村委員は、審議採決には不参加

配付資料（事務局初回受領年月日；2022年11月1日）

資料1 様式第二（第二十八条関係）（2022年10月31日）

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、齋藤委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

議題：「動脈硬化の進展予防を目的とした自己脂肪由来間葉系幹細胞治療」の提供計画における疾病等報告について

結果：「適」

医療法人社団みき会サンフィールドクリニックより、本件について概要の説明が行われた。

前回の委員会(2022年9月2日)において、2022年5月25日までの実施症例に関する定期報告がなされたが、その後、本委員会開催までに1件頭痛が発生したため、非重篤の疾病等報告がなされた。

細胞投与中に特に問題となる所見はみられなかったが、当日の電話ヒアリングにより帰宅後の頭痛の発生が確認された。その後、自然消失となった。

質疑、意見等は特に無く、委員全員一致により「適」となった。

以上